

ローカルSDGs 奥三河フォーラム

～地域経営のためにエネルギー事業を立ち上げよう～

令和7年2月19日(水) 13時30分～17時

主催 奥三河エレクトレ

後援 環境省中部地方環境事務所

プログラム

13時30分	開催のご挨拶	ローカルSDGs 奥三河フォーラムの狙いと奥三河地域に対する期待 環境省中部地方環境事務所 環境対策課より
13時40分	活動経過報告	「地域経営のためにエネルギー事業を立ち上げよう」 ～多者協働だからこそできる持続可能なまちづくりの提案～ 株式会社三河の山里コミュニティパワー 専務取締役 萩原喜之
14時20分	連携協定の締結式	「設楽町における地域課題解決を目的とした地域エネルギー事業等」に関する連携協定の締結式
14時30分	主幹団体の宣言	「連携協定により、これから地域で取り組んでいくこと」 設楽町 町長 土屋浩 したらワークス協同組合 代表理事 麻野間達矢 愛知東農業協同組合 代表理事組合長 海野文貴 株式会社三河の山里コミュニティパワー 代表取締役 早川富博
14時45分	事例報告	「支え合いのよる地域経営の実践」 ～豊田市山村地域 敷島自治区の事例報告～ しきしまの家運営協議会 事務局長 鈴木辰吉
15時25分	休憩	オンライン配信終了
15時35分	ワークショップ (会場参加のみ)	テーマ：「ともに考えまい！奥三河の地域経営」 参加者全員によるセッション 進行：株式会社ピー・エス・サポート 代表取締役 村田元夫
16時45分	総評と提言	本日のまとめと、地域の未来に向けての提言 名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 高野雅夫
17時00分	終了	

奥三河フォーラムの狙いと 奥三河地域に対する期待

環境省中部地方環境事務所 環境対策課



環境省

ローカルSDGs奥三河フォーラム

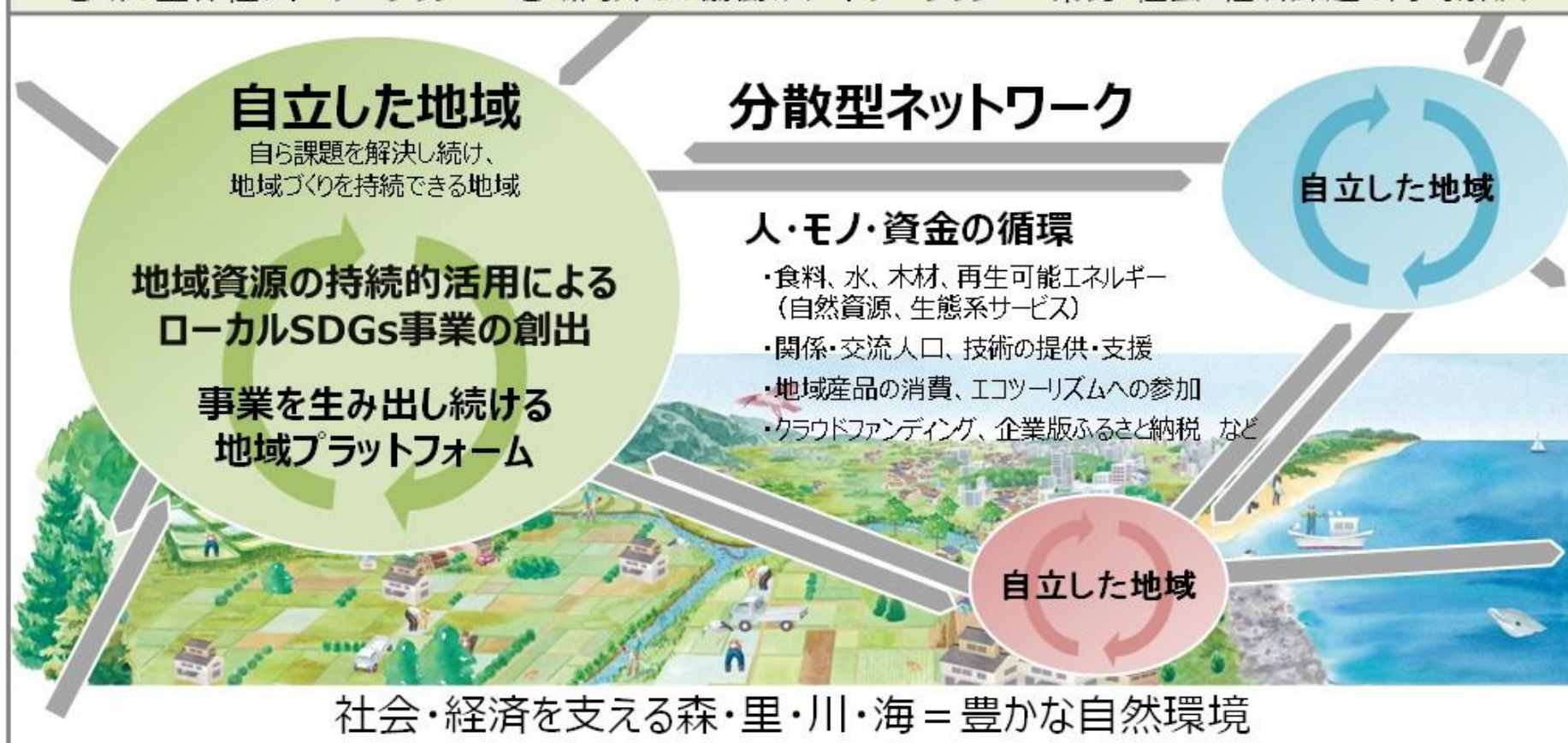
2025年2月19日

環境省中部地方環境事務所



地域循環共生圏 = 自立・分散型の持続可能な社会

地域の主体性:オーナーシップ 地域内外との協働:パートナーシップ 環境・社会・経済課題の同時解決



・ **地域資源を活用して環境・経済・社会を良くしていく事業**を生み出し続けることで地域課題を解決し続け、自立した地域をつくとともに、地域の個性を活かして**地域同士が支え合うネットワークを形成**する「自立・分散型社会」を示す考え方。

・ 私たちの暮らしが、森里川海のつながりからもたらされる自然資源を含めて地上資源を主体として成り立つようにしていくために、これらの資源を持続可能な形で活用し、自然資本を維持・回復・充実していくことが前提。

もうすこし「地域循環共生圏」について

● **地域循環共生圏** =
資源を循環利用して持続する
「自立」する地域が、相互に連
携し機能する。



地域の特性、地域資源の性質に応じ、
最適な規模で地域資源が循環する。

- 狭い地域での循環に適した資源 ⇒ コミュニティや自治体レベルの小さな領域で循環
- 広い地域での循環に適した資源 ⇒ 河川流域、都道府県、国など

地域を越えたより広い領域での循環

● **SDGs** = No one will be left behind.
誰も取り残さない（あらゆる個人が活躍）

「量的拡大」「集約化」「均一化」

することで効率的な経済活動を可能とする成功モデルを生み出す
前提で設計された旧来のシステム

からの**転換**

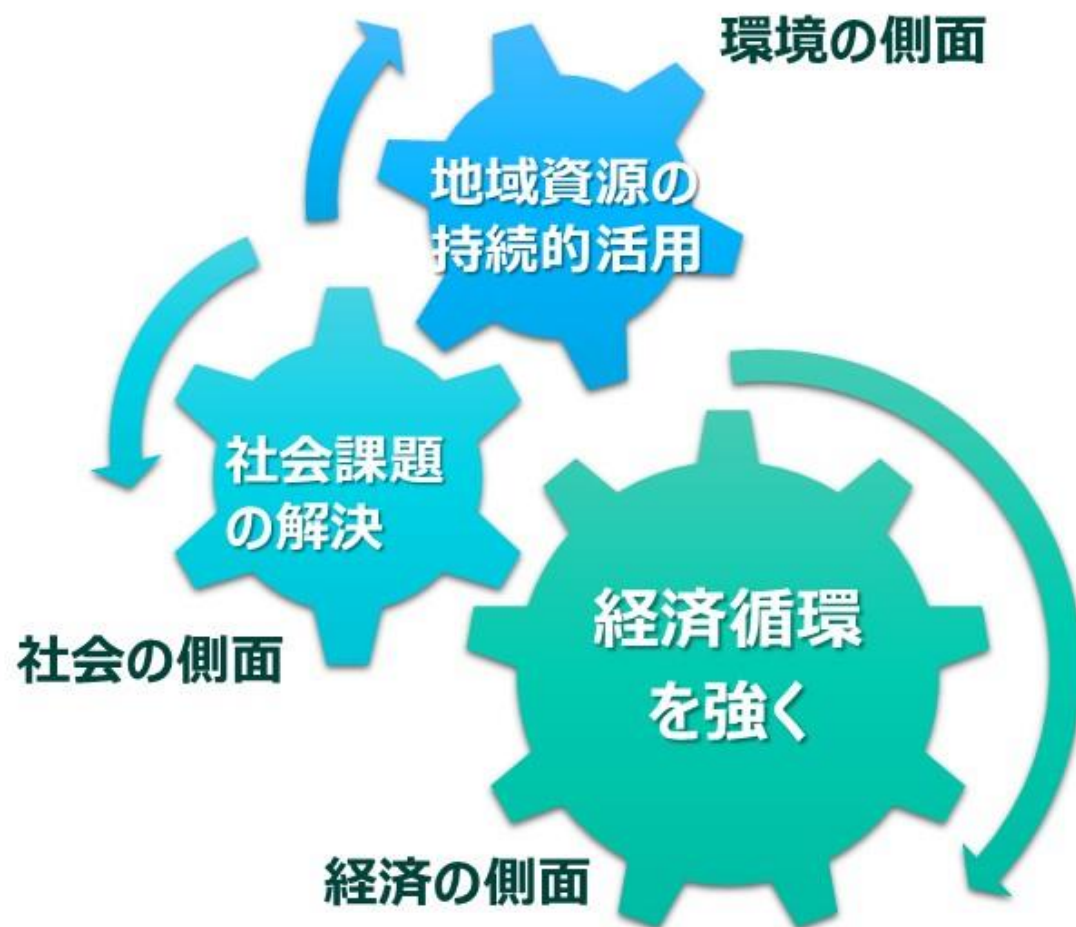
地域の

悩ましい事は
思い当たりますが

地域で

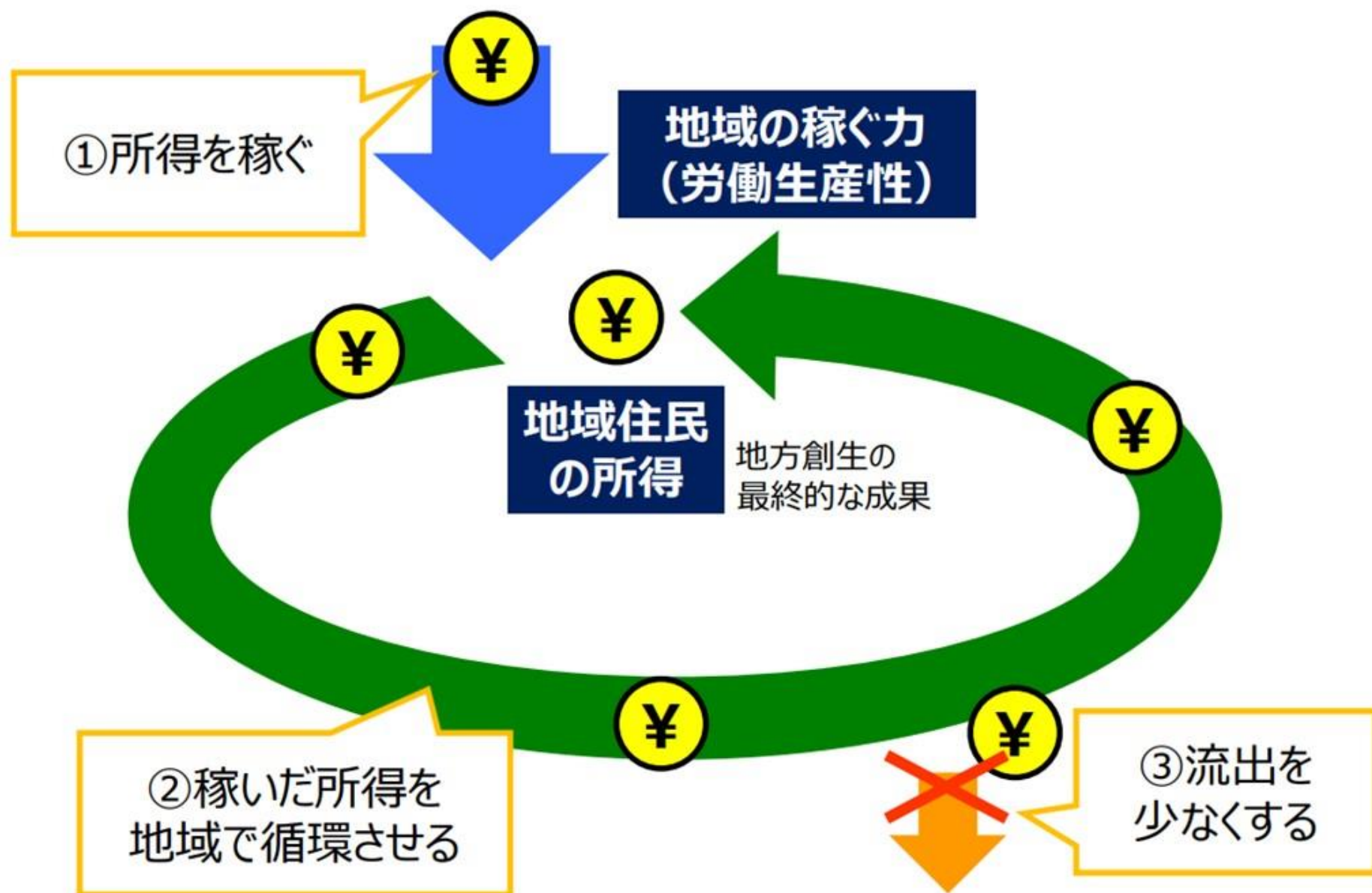
うまく活かせる
「資源」
もありますよね！

地域を元気にする？



環境・経済・社会を
統合的に良くする
事業・ビジネス
＝ローカルSDGs事業

地域の経済循環＝地域循環共生圏の経済側面



『地域経営のために
エネルギー事業を立ち上げよう』
～多者協働だからこそできる
持続可能なまちづくりの提案～

株式会社三河の山里コミュニティパワー 専務取締役 萩原喜之

第2回 ローカルSDGs 奥三河フォーラム

『地域経営のために エネルギー事業を立ち上げよう』

～多者協働だからこそできる
持続可能なまちづくりの提案～



株式会社三河の山里コミュニティパワー
専務取締役 萩原喜之

2025年2月19日
設楽町役場 議場

1. 地域経営とは？ ①環境省の考え

地域循環共生圏

地域の多様な資源を最大限に活用しながら、環境・社会・経済の同時解決を目指す



図 4 地域循環共生圏の三原則

出典：環境省(2024)『[地域循環共生圏づくりの手引き](#)』p.8

1. 地域経営とは？ ②農水省の考え

農村型地域運営組織(農村RMO) RMO: Region Management Organization

複数の集落の機能を補完して、**農用地保全活動**や**農業を核とした経済活動**と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織のこと

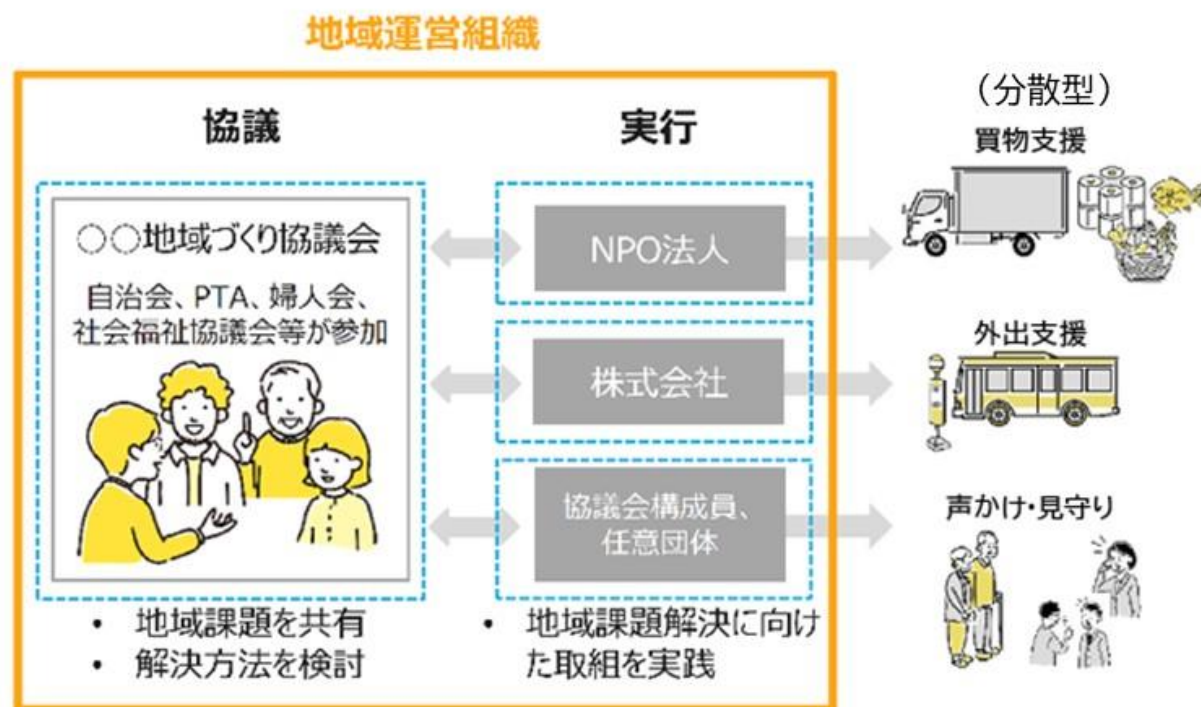


出典: 農林水産省HP「[農村型地域運営組織\(農村RMO\)の推進](#)」

1. 地域経営とは？ ③総務省の考え

地域運営組織

地域の暮らしを守るため、**地域で暮らす人々が中心**となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織



出典：総務省HP「[地域運営組織](#)」

1. 地域経営とは ④国交省の考え

重層的な圏域構造における地域生活圏の位置づけ

地域生活圏

国土全体にわたって人々が生き生きと安心して暮らし続けていくことができる地域づくり



出典：国土交通省第2回地域生活圏専門委員会(2024年12月4日)配布資料
「資料2 地域生活圏の考え方について」

2. MYパワーの基本的な考え方

多者協働

考え方・立場・目的の違う相手とも組む

リフレーミング

相手の必要性から訴える

さまざまな力を合わせた

①統治 = 行政 = 豊田市

②交換 = 企業 = 中部電力

③互惠 = 地域住民

④威信 = 足助病院長(当時*) 早川氏

+

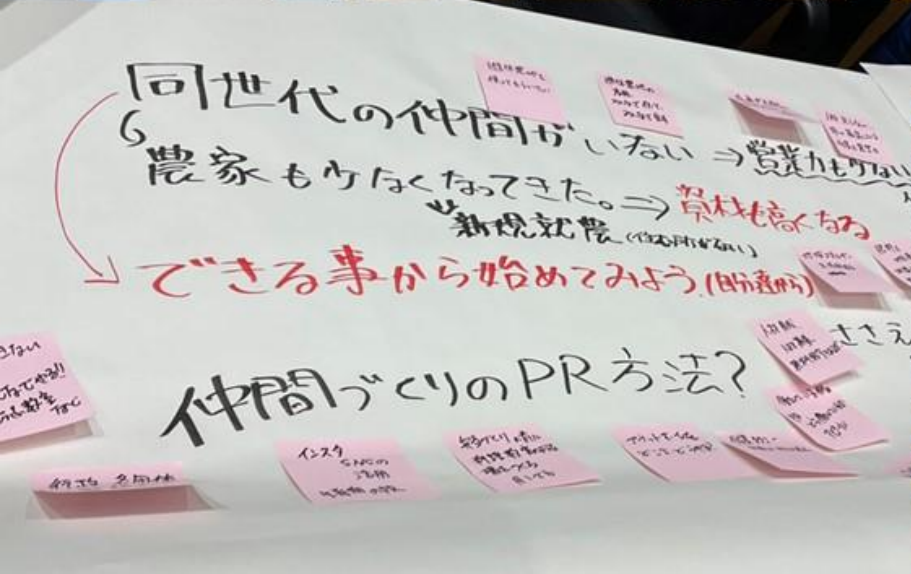
⑤相利 ➤ 関係者それぞれの利益がともに実現される
その「利益」はそれぞれ異なる場合もある

第13回「日本医師会
赤ひげ大賞」受賞！

3/30(日)BSフジ
『密着！かかりつけ医の奮闘
～赤ひげ大賞受賞者～』
放送

*現名誉院長 7

第1回奥三河フォーラム(2024. 2. 14)



第1回奥三河フォーラム アンケート結果

連携先として協力したい 6

事業主体として協力したい 3

一緒に計画を作りたい 1

勉強会から参加したい 16

奥三河エトレ月例会

- 3/25
- 4/24
- 5/24
- 6/26
- 7/31
- 9/4
- 10/17 旧田峯小
- 11/19 旧田峯小
- 12/26 オンライン
- 1/31 旧田峯小



第1回フォーラムのあと

当初、第1回の参加者
との勉強会を始める
予定だった

まだ4者のお互いのこ
とを理解できていな
かった



⇒しばらくは4者で継続することにしました

2024年4月より事務局会議を始めました



10月に フォーラム参加者へ 経過報告を行いました

令和6年10月8日

関係者各位

奥三河エネルギー事業勉強会、通称エトレ事務局です。

今年度の活動報告と次回フォーラムの開催予定についてご連絡いたします。

昨年2月に開催しましたフォーラムにご参加くださり、誠にありがとうございました。

参加くださいました皆様からは、さまざまな角度から地域課題に関する意見をいただき、改めて【地域課題×エネルギー事業】の取り組みの必要性を強く感じたところです。

そこで、今年度は4者（JA愛知東、マイパワー、したらワークス協同組合、設楽町）で毎月集まり、奥三河で地域エネルギーの循環を実現するための方法を協議してまいりました。

その結果、4者間で「連携協定」を結び、それぞれがしっかりと役割を担い、地域課題の解決に向けた実働準備を進めることとなりました。

次回のフォーラムは2025年2月に開催予定です。

日時等、詳細が決まりましたら改めてご連絡しますので、ご都合のつく方は、ぜひ継続してのご参加をお願い申し上げます。

皆様お一人お一人のご意見や思いが、奥三河地域のさらなる発展と継続につながりますよう取組んで参りますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

奥三河エトレ事務局

2024.2.20 豊田市旭地区「しきしまの家」視察



2024.4.9 したらワークス MYパワー見学



2024. 9.22

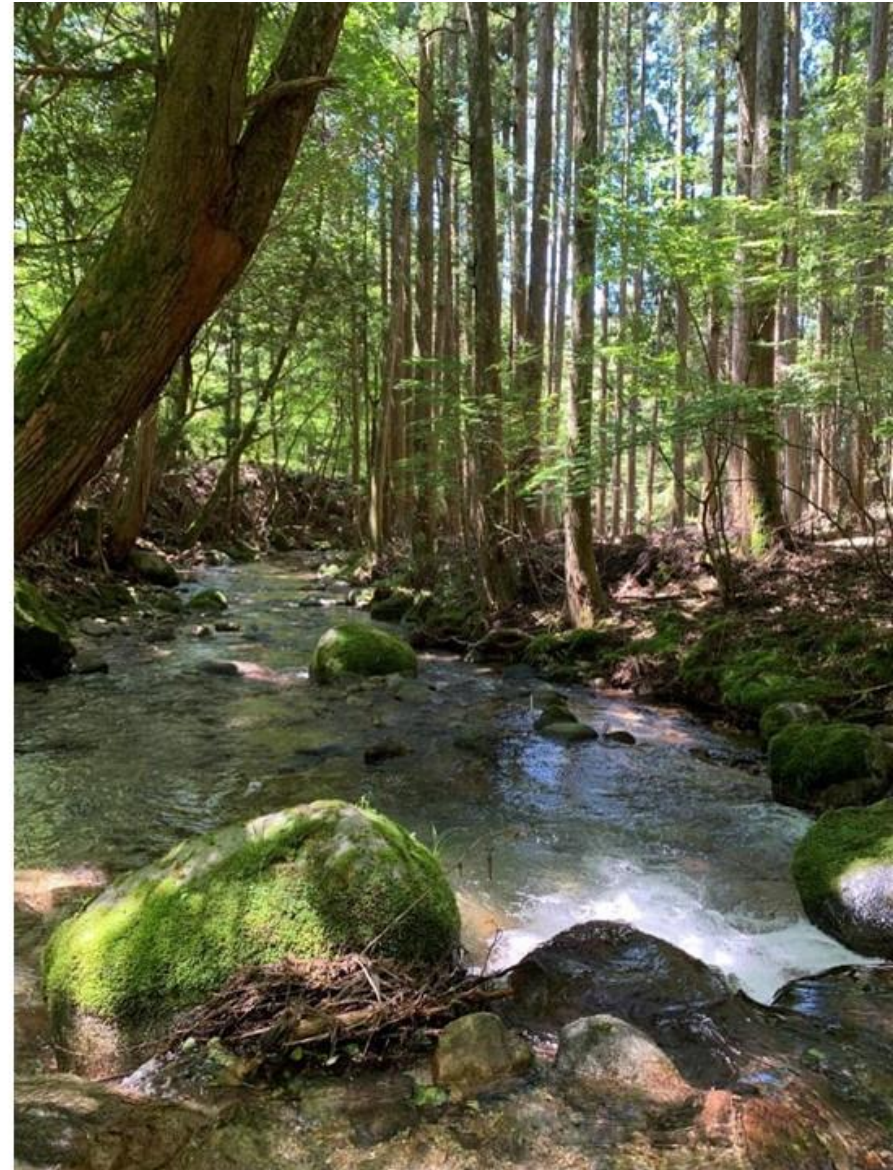
旧田峯小グラウンドにて焚火を囲み地域住民と意見交換



2024.11.8 名古屋市「伝馬おたがいさま」見学



設楽に
MYパワーのような
地域の課題解決を目的とした
電力小売り会社を創ろう！



設楽町、JA愛知東、したらワークス組合員
が電力を切り替えると、約1.3億円

粗利10%とすると、正社員1名、パート1名
が確保できる。これにより基礎ができる

設楽町全体では粗々の試算をしたところ
4.6億円程度*の電力料金が発生している

ここから設楽全地域の
みなさんに働きかけをしていく



*2021年時点。国の統計を用い、MYパワーで試算

「総合エネルギー統計」(経産省)、「経済センサス」(経産省)、「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」(総務省)を元にMYパワー作成

設楽町

JA愛知東

したらワークス

MYパワー



愛 知 県
設楽町
Shitara Town



したらワークス
協働組合



で4者協定を結ぶこととしました。

今日がその締結の日です。

みなさんもぜひお仲間に！

「支えあいによる地域経営の実践」 ～豊田市山村地域 敷島自治区の事例報告～

しきしまの家運営協議会 事務局長 鈴木辰吉

地域の絆が 都市とつながり 未来を拓く

～しきしまの家から始まる山村の未来～



しきしまの家運営協議会

敷島自治区の概要

■自治区の地勢

豊田市の中山間地域に位置

面積: 21.7km²

標高: 約180m～530m

■自治区の人口 (R6.3.1)

人口: 877人 (住民基本台帳)

世帯数: 322世帯 (自治区調べ)

■集落数

9集落 (町内会)

■公共施設

旭中学校

敷島小学校

杉本こども園

杉本郵便局

杉本駐在所



**「しきしま♡ときめきプラン」
10年の歩み（2010～2019）**

10年後を展望し
5年間の行動計画を定める

「しきしま♡ときめきプラン」



2019年12月7日
公開討論会

討論には、中学生やしきしまファンの都市部住民も参加

しきしま 暮らしの作法

私たちは、しきしまを豊かな暮らしの場として

未来につなぐことを決意し、

しきしまを愛する全ての人々を温かく迎え入れます。

ここに暮らしの作法十か条を定め、これを守ります。

第一条 家、田畑、山林は地域共有の風景と考えよう。

第二条 家の周りをきれいにして暮らそう。

第三条 空き家を放置するのはやめよう。

第四条 田畑や山林を荒らさず、生業の種を育てよう。

第五条 高齢者が生涯現役で暮らせるよう支えあおう。

第六条 子どもは地域の宝、よその子も大切に育てよう。

第七条 歴史や伝統文化を地域の誇りとして守ろう。

第八条 あいさつを励行し、安全安心な地域をつくらう。

第九条 自分でできないことは、みんなで助け合おう。

第十条 地域の未来のために何ができるか考え行動しよう。

令和二年三月 数島自治区

移住者受入れは空き家活用が決め手

10年間の移住実績

40世帯 98人

2020年2月24日

空き家片付け
大作戦



2020年2月2日

暮らしの参観日(空き家見学会)

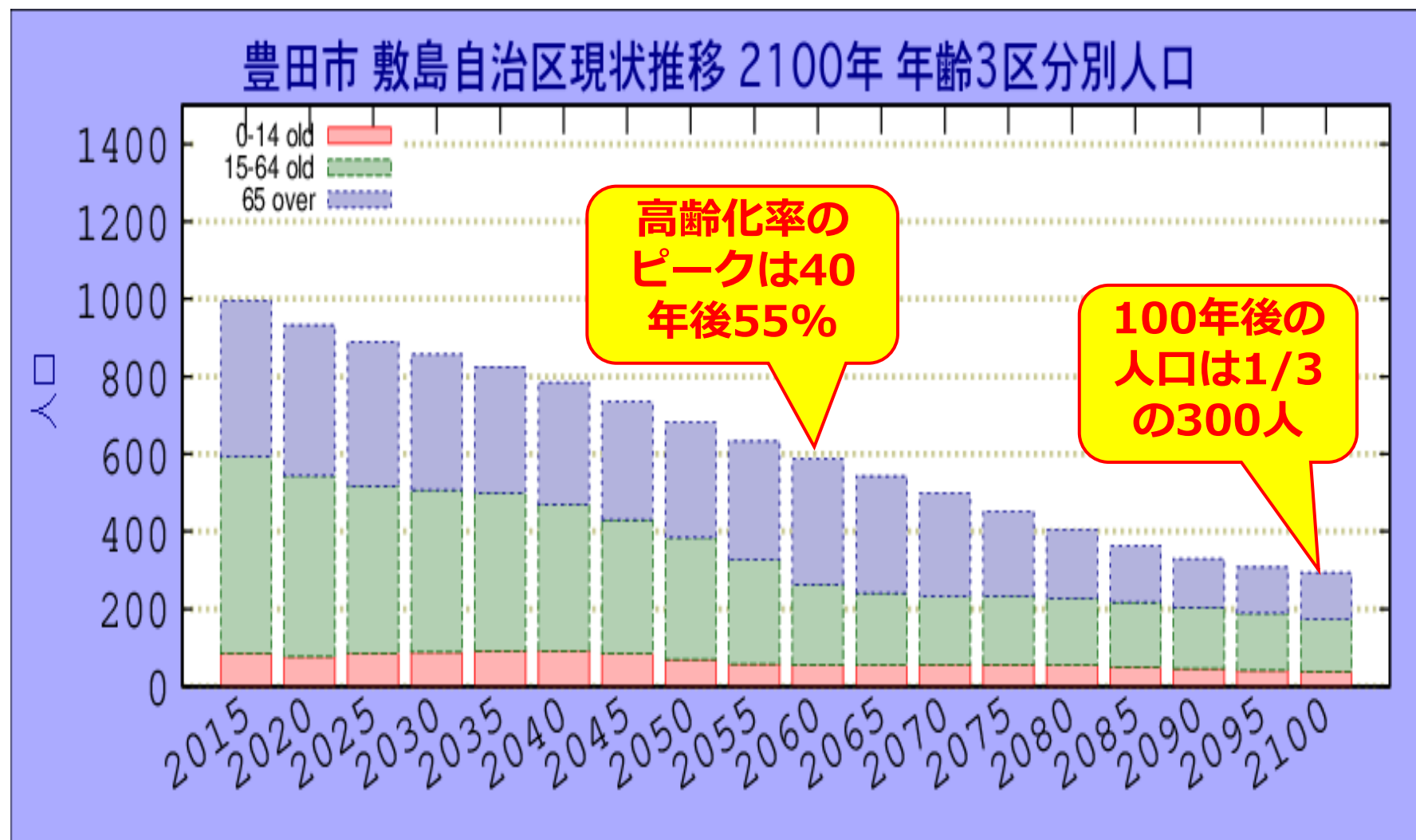
10年間の活動が評価され
地域活性化優良事例として **総務大臣賞を受賞**



2020.11.28 ホテルルポール麴町

新たなフェーズ
「しきしま♡ときめきプラン2020」

人口減少、高い高齢化率は100年続く



これからの地域社会のあり方を考える視点

高度成長前

- ・ 一次産業中心
- ・ 自給自足
- ・ 大家族
- ・ 結・統制
- ・ 自然エネルギー

家族・地域で支えあわ
ないと生きられない
共同体中心社会

高度成長～現在

- ・ 二三次産業中心
- ・ 市場・貨幣経済
- ・ 核家族
- ・ 自己責任・行政依存
- ・ 化石エネルギー

自己責任・行政依存
経済効率優先の
自己責任社会

少数化社会 (人口減少・超高齢社会)

- ・ 四五次産業中心
- ・ 持続可能経済
- ・ 個人
- ・ 多様性・自由・包摂
- ・ 再生可能エネルギー

多様な価値観を認め
支え合う持続的な
新・共同体中心社会

「しきしま♡ときめきプラン2020」 3つの重点プロジェクト

人口減少・超高齢社会を受け止めて前に進む！

プロジェクト①

支え合い社会創造プロジェクト

誰もが「支える人」であり続け、無理のない持続的な有償ボランティアのシステム(現代の「結」)を創り上げる

プロジェクト②

農村景観を守る農地保全プロジェクト

美しい農村の風景を次世代につなぐため、消費者とつながる農地保全(CSA農業)、集落営農組織化に取り組む

プロジェクト③

未来への構造改革プロジェクト

人口減少・超高齢社会に合った自治区、町内会などに改め、関係人口と共に地域を自治する地域運営組織を立ち上げる

プロジェクト①

支え合い社会創造プロジェクト

『敷島自治区 困りごとアンケート』の
調査結果が出ました！

回收率：80.5% (746/927名)

★★★★★★ 主な特徴は、次の2つ ★★★★★★

①「お手伝いできる」「場合によってできる」の回答が**多く**ありました！！

→自治区内の支え合いで、地域の困りごとが「ある程度」解決できそうです。特に ○○○○ のあたり。



2 「世代・性別」で
「お願いしたい」こと
が異なっています！

お願いしたいこと	1 位	2 位	3 位
13～39才（18％）	42. 子どもの遊び場	31. 運動できる場所や施設	34. 緊急時に医療が心配
40～69才（47％）	16. 山の手入れ	15. 獣害	26. 地域活動のお役職がすぐ回ってくる
70才以上（35％）	7. 機械や電気製品の修理	15. 獣害	6. 高所作業や大型ゴミ出し等の力仕事
男性（48％）	26. 地域活動のお役職がすぐ回ってくる	16. 山の手入れ	15. 獣害
女性（52％）	16. 山の手入れ	15. 獣害	13. 草刈り

[illegible]

さすが敷島♪

2021年(令和3年)
9月11日(土)

発行
敷島自治区 支え合い社会創造
プロジェクト (協力:MYPパワー)

表面

しきしま支え合いシステムのイメージ

困っている人・世帯

- ・ひとり暮らしの高齢者
- ・高齢者のみの世帯
- ・子育て世帯
- ・その他助けが必要な人

①依頼

②見積り

⑤支払い

みんなが「支える人」であり「支えられる人」！

④サービスの提供

- ・草刈り・大工
- ・買い物代行
- ・子どもの見守り
- ・電球交換
- ・庭畑の草取り
- ・パソコンやスマートフォンなどの機器説明

お手伝いができる人

- ・げんきな高齢者
- ・特別な技能を持つ人
- ・助産師など有資格者
- ・都市部の支援者など

③依頼

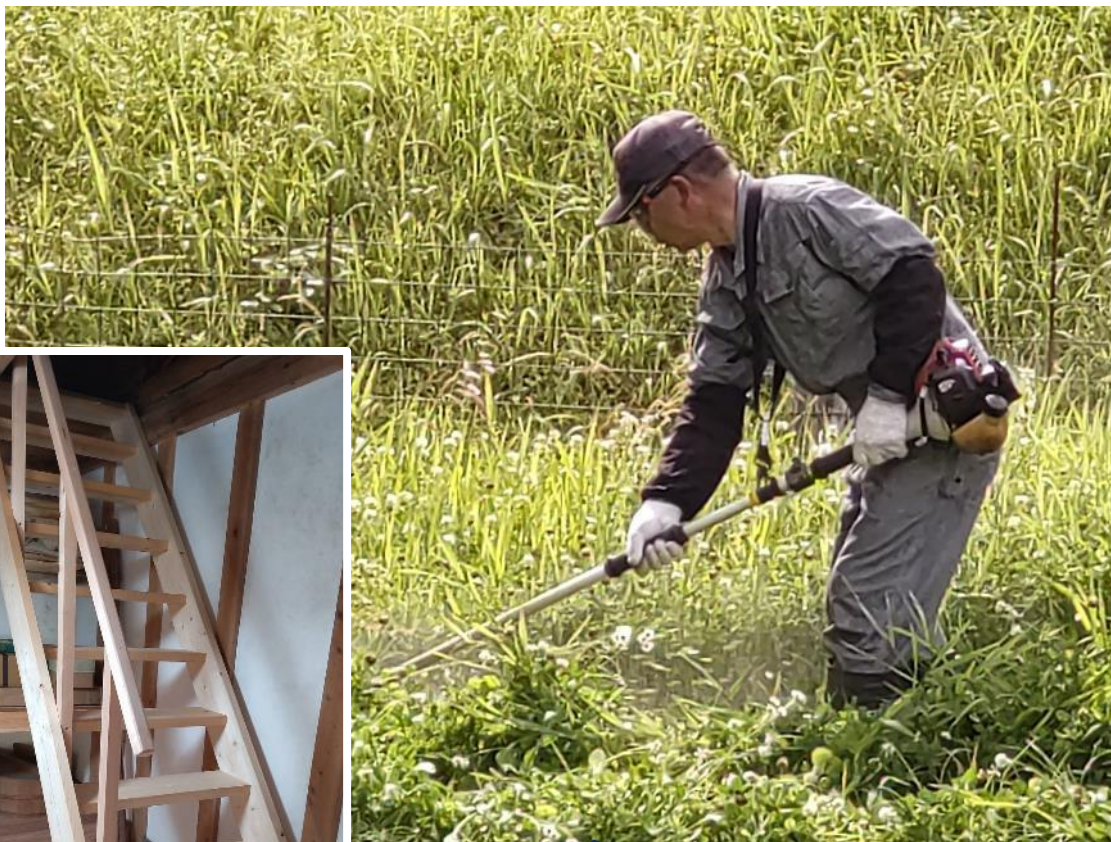
⑥支払い

登録

事務局／マッチング・見積り・清算事務

支え合いマッチング累計300件

マッチングナンバー1は
「草刈り」4割、次いで、
「移動支援」2割、「木
の伐採」、その他「大工
仕事など」と続きます。



支援をするのは高齢者の7割
を占める「元気高齢者」、I
ターンの若者など

プロジェクト②

農村景観を守る農地保全プロジェクト

私たちが導き出した農地保全の方向性

- ① 共同活動の継続が危ぶまれる集落もある
- ② 各集落単位で集落営農組織化は困難
- ③ 「自給家族」をやりたいが、人材がいない

国の政策
などの
環境変化

- ・ 中山間直払いの加算制度が拡充された
- ・ 農村RMOを推進する支援制度の創設
- ・ 「地域計画」の策定が義務付けられた

しきしまの家を拠点に広域連携で農地を保全

農村RMO実証事業も着々

令和5年度から3年間の
農村RMOモデル推進支援
事業に採択されました。

草刈りロボットは、愛
知工業大学との連携事業、
農用地保全の切り札、し
きしまの家「自給家族」
の募集を開始しました。

農 用 地 保 全	「地域計画」実現化戦略計画
	草刈りロボット開発実証
	しきしまの家自給家族実証
地域資源活用	RMO拠点しきしまの家整備
	高齢者生産野菜配送加工実証
生 活 支 援	支え合いシステム実証
	高齢者移動支援実証



「自給家族方式」なら農地が保全できる

- ①誰が ⇒ 中核経営体とアクティブシニア
- ②何を ⇒ 得意の米(特別栽培ミネアサヒ)
- ③どこに売るか ⇒ 関係人口と直接契約

生産者と消費者がつながって、双方が豊かになる

しきしまの家

のメリット

- 農の営みが続き農地が守られる
- 集落が消滅の危機から救われる
- 「関係人口」が生まれ暮らしが楽しくなる



新しい家族

のメリット

- 安全で美味しいお米が確実に手に入る
- 地球や人に優しい消費に貢献できる
- 自然や人の温もりを感じ暮らしが楽しくなる

親戚の米を少し多めに作るようなもの

少し横着な「棚田オーナー」のようなもの

しきしまの家 自給家族

① しきしまの家が事務局となって、遊休農地を活用した

米の生産・消費グループ「自給家族」を募る

② 消費者は、需要量に応じた栽培経費を前払いする

③ 生産者は、特別栽培米ミ

ネアサヒを生産、保管する

④ 「自給」の喜びもリスクも共

有する

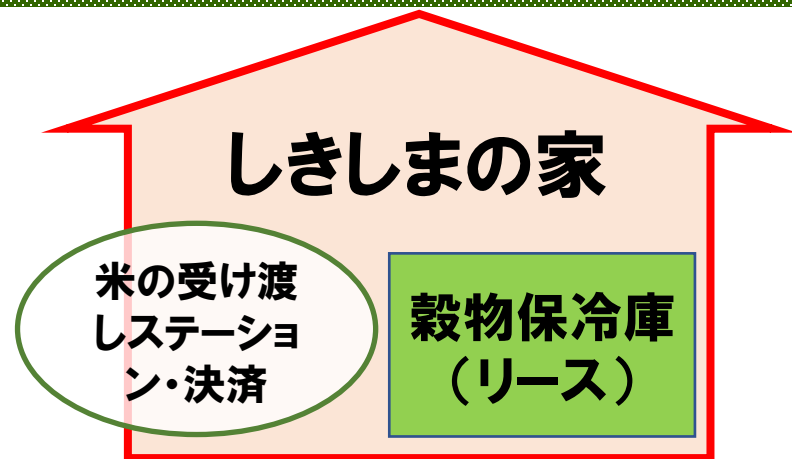
⑤ 10kg単位で取扱、楽しく

交流する



**得意の米で農地が守られ、食の安心を保証、
双方の暮らしが豊かに、楽しくなる。**

しきしまの家自給家族2025年産目標



2023年産	140家族	210俵
2024年産	230家族	320俵
2025年産	330家族	470俵
100家族、150俵増をめざす		

出荷470俵



プロジェクト③

未来への構造改革プロジェクト

みんなのたまり場「しきしまの家」

経営的手法で地域課題を解決する2階を増築

自治区の方針に基づき、経営的な観点や手法で具体的に事業を実施する。

方針

地域課題を協議、方針を定め行政と共働して実践する。

2階

しきしまの家

支え合いプロジェクト事務局

農地保全プロジェクト事務局

農村レストランふらっとyui

関係人口とつながるテーマ別団体のプラットフォーム

1階

敷島自治区(任意団体)

定住促進部

環境保全部

福祉健康部

次世代育成部

安全安心部

広報部

大規模災害に備えた機能的防災会

町内会、農事組合など地縁的団体

山村自治の新しい考え方

これまで

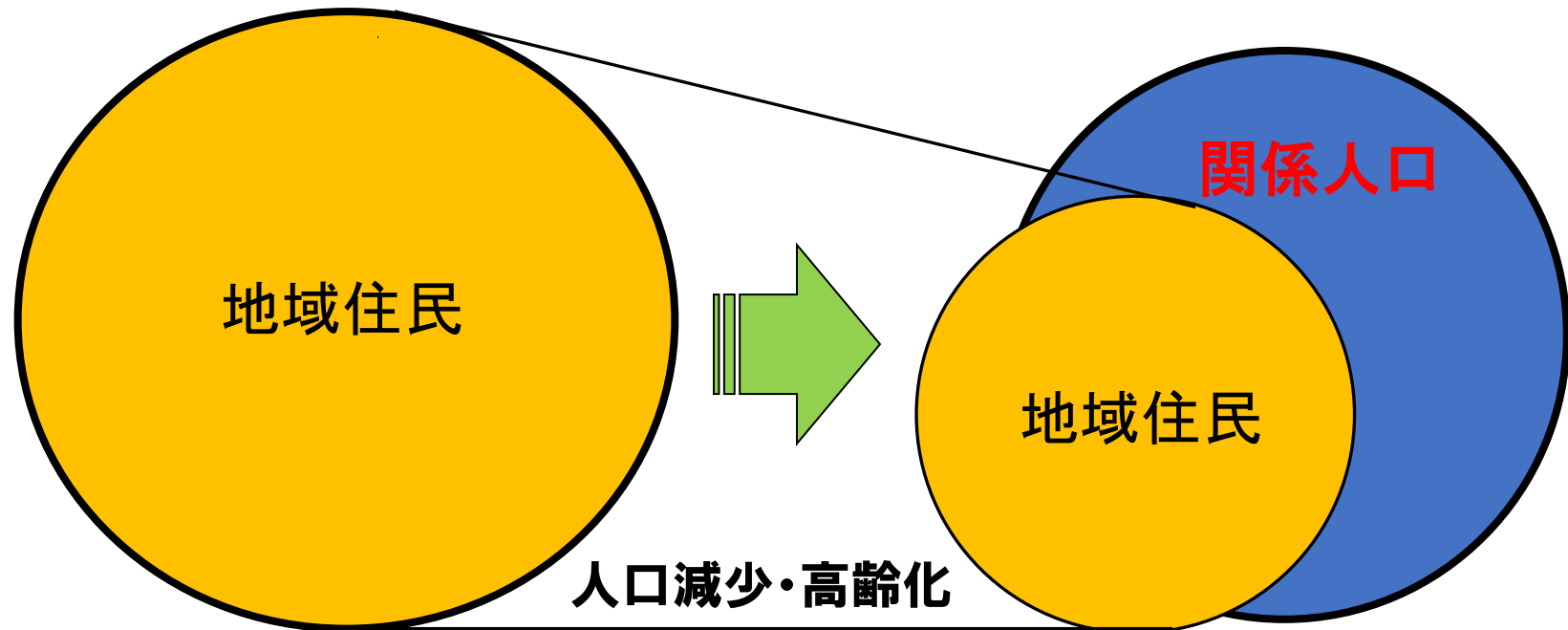
地域自治 = 住民自治

地域住民が主体性を持って自立し、地域課題を解決

これから

地域自治 = 関係自治

地域住民と関係人口が共に自治の主体となって地域課題を解決



関係人口：都市に居住しながら山村地域の課題解決に積極的に関わる人

「しきしまの家」から始まる 山村の未来

お披露目会に約200名の参加

2023年4月1日(土)「しきしまの家」暫定オープン



太田市長の挨拶

「しきしまの家は、
必ずこれからの地
域自治のモデルに
なる。」

しきしまの家グランドオープン



2024年4月、「我が家の居間のようになくつろぎ空間」をコンセプトにグランドオープン。食を共にすることで、地域の絆がさらに強まることを期待しています。



◀地域や企業
にお弁当の
配食も開始。

スタッフも▶
拡充しまし
た。



「ふらっと祭」は毎月大盛況

毎月開催されている「ふらっと祭」には200人が集まります。子どもから高齢者までが交わる縁日のよう。人気ナンバー1メニューは、「台湾ラーメン」。



◀お年寄りから子どもまで大盛況

人気の台湾▶
ラーメン



みんなの拠点づくりの効果は絶大

- 「たまり場があったらいいね」の一言から
- 行政に頼らず「私たちの拠点」(寄付、クラファン、DIY)

効果1 地域づくりが目に見えポジティブな空気が流れる
効果2 「場所」の存在で、できないことができるに変わる
効果3 たまり場から課題やアイデアが生みだされる



◀ DIY講座には、
住民のほか
企業や大学
生も参加

コロナ渦中 ▶
9 集落に対し
22回の住民説
明会



「ときめきプラン2025」を策定

「ときめきプラン2025」で、しきしまの家は、自主財源の確保など、経営的な視点をもって地域の課題を解決する地域運営法人とすることが定められました。



プラン策定委員会の様子

「しきしまの家」アクションプログラム

分野	方針
1 運営体制の整備	地域課題を効果的に解決するしきしまの家の持続的な運営体制を確立
2 支え合いシステム	誰もが支え、支えられる人であり続けられる有償ボランティアの仕組みを構築
3 農用地保全	自作困難な水田の管理体制を構築し、「自給家族」方式により農用地保全を図る
4 ふらっとyui	共に食事ができる憩いの場として、地域の絆、都市とつながる拠点機能を拡充

私たちが見つけた大切なこと

- ①ビジョンを丁寧につくり地域の総意とする
- ②人口減少・超高齢社会を受け止める
- ③アクティブシニアが地域のミライを拓く
- ④美しい農村景観を守ることにこだわる
- ⑤関係人口を地域自治の主体に加える

今後の展望（課題）

- ①農村RMOの法人化で地域を経営する（R8）
- ②「自給家族」はじめ複数の自主財源を持つ
- ③地域づくりを楽しむポジティブ人材を育む



「しきしまの家・自給家族」を募集しています

アンケートのお願い



本日の感想などをぜひお聞かせください！

設楽町地域おこし協力隊

活動報告会



観覧自由

どなたでも
ご自由にご観覧
いただけます。

活動報告発表・展示

2025 **3.23** 日 10:00-16:00

場所 旧田峯小学校（愛知県北設楽郡設楽町田峯字下畑9）

講堂 | 各協力隊員による発表

各教室 | 各協力隊員の展示

・スリッパの数に限りがあるのでお持ちの方はご持参いただけますようお願いいたします。

・駐車場は田峯小学校グラウンドまたは田峰観音をご利用ください。

縁を起こし、町をおこす

——— 現在の活動のこと。これからのこと。 ———

講堂 | 各協力隊員による発表

タイムスケジュール

はじめに	第一部		休憩
10:00 ~ 10:10	10:10 ~ 10:30	10:30 ~ 10:50	
開催挨拶	(ミッション型) 加藤哲嗣 ・したらワークス 協同組合事務局長	(ミッション型) 山田幸子 ・したらワークス 協同組合事務局長	
第二部			休憩
11:30 ~ 11:50	11:50 ~ 12:10	12:10 ~ 12:30	
(提案型) 柴田博隆 ・沢わさび	(提案型) 谷山昌輝 ・ワイン	(提案型) 山田一九十九 ・酵素ジュース教室開講 ・特産品の創作	
第三部		特別枠	自由観覧
13:00 ~ 13:20	13:20 ~ 13:40	13:40 ~ 14:00	~ 16:00
(ミッション型) 徳山雅美 ・アウトドアまちづくり 推進室	(提案型) 早坂安未 ・デザイン ・拠点づくり	Wow! base	

time schedule

当日はキッチンカーの出店もあります

講堂にて、飲食しながら発表をご覧いただけますのでぜひご利用ください。

・錦木農園 (food)
・Rich Life(coffee)



姉妹提携都市
田原市からの応援出店！

活動報告会

2025年 **3月23日** (日) 10:00~16:00

旧田峯小学校（愛知県北設楽郡設楽町田峯字下畑9）

【問い合わせ先】電話番号：0536-64-5004(協力隊活動拠点)

人と自然と繋がりを五感で感じる場

アウトドアアカレツジ

つながり、
はじまる。

設楽町での豊かな暮らしを
未来に繋いでいくために、
今ある地域資源、語り継がれ
る文化などを再認識します。
私たちの町に活気、愛着、
自信を！



○内容：ダム湖周辺整備・焚き火を囲む会 など

○スケジュール：第3水曜日 19:00～ ※zoomでも参加可能（月に1回程度開催予定）

主催 / 企画ダム対策課

問い合わせ先 / 企画ダム対策課：0536-62-0514

(kikaku@town.shitara.lg.jp)



◀開催情報はこちら